

平成31年（令和元年）度事業報告書

個別事業の内容について

I〔公益目的事業〕

1. 手話通訳者派遣事業（公1）

手話をコミュニケーションの手段とする聴覚障害者の社会生活上の意思疎通を円滑にするために手話通訳者及び手話講師の派遣事業に取り組んだ。

（1）手話通訳者派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、手話通訳を必要とする団体（行政・民間企業等）の申し込みを受け付け、岡山県登録手話通訳者に打診し、内定した手話通訳者を派遣した。岡山県手話通訳者登録試験に合格し手話通訳者として岡山県に登録された者を派遣登録しており、本年度は6名を登録した。

令和元年度末現在112名を登録している。

事業実施のための財源 手話通訳依頼者からの手話通訳料を充当した。

① 派遣件数（合計222件）

4月…12件	5月…8件	6月…16件	7月…15件
8月…19件	9月…18件	10月…28件	11月…33件
12月…19件	1月…24件	2月…24件	3月…6件

② 地区別派遣件数（合計222件）

赤磐…7件	浅口…1件	岡山…122件	小田…1件	加賀…17件
笠岡…1件	久米南…2件	倉敷…26件	里庄町…1件	
瀬戸内…18件	総社…2件	高梁…5件	津山…2件	
苫田…2件	新見…2件	備前…2件	真庭…1件	
美咲町…8件	美作…1件	県外…1件		

③ 内容別派遣件数（合計222件）

生命・健康…0件	警察・裁判…0件	生活・生計…2件	行政…2件
学校・教育…17件	職業・労働…79件	文化・スポーツ…15件	
会議・集会…99件	聴障協活動…5件	その他…3件	

（2）手話講師派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、団体（行政・民間企業等）からの申し込みを受け付け、開催される手話講座や手話講義に、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が認めた手話講師を派遣し、聴覚障害者や手話に関する理解を広げると共に、聴覚障害者の福祉向上と社会参加の促進を図った。講師登録研修を受けた者を毎

年登録しており、令和元年度末現在の登録人数は79名である。

事業実施のための財源 手話講師派遣依頼者からの手話講師料を充当した。

[手話講師派遣実績]

依頼者	派遣日数	派遣人数	備考
瀬戸内市	22日	1人	
	4日	2人	
専門学校岡山ビューティモード	17日	2人	
専門学校ビーマックス	30日	3人	
岡山市福祉交流プラザさいでん	15日	4人	
	1日	2人	南乙多見老人会共催
専門学校岡山ビジネスカレッジ	32日	5人	1年(前期・後期)
	32日	4人	2年(前期・後期)
	16日	2人	3年
	8日	3人	介護福祉
新見市社会福祉協議会	18日	5人	
旭川荘厚生専門学校	15日	2人	
福山手話サークル芦の会	1日	1人	
就実高等学校	22日	2人	
総社市	22日	1人	
井原市社会福祉協議会	18日	4人	
国立吉備高原リハビリテーションセンター	19日	1人	
清心女子高等学校	1日	12人	
高梁市	24日	5人	
岡山県立津山東高等学校	2日	2人	
岡山県警察本部	2日	4人	
岡山県聴覚障害者親の会	1日	1人	
岡山県瀬戸内市立邑久中学校	1日	4人	
岡山放送株式会社	1日	2人	
岡山市瀬戸地区民生委員児童委員協議会	1日	1人	
三菱自動車工業株式会社	6日	2人	
公益社団法人倉敷市シルバー人材センター	2日	2人	
岡山市立岡山後楽館高等学校	1日	2人	
高梁市立高梁小学校	1日	1人	
岡山高等歯科衛生専門学校	8日	2人	
倉敷市玉島池畝会館	1日	2人	
NPO法人まちづくり推進機構岡山	2日	2人	
総社市立昭和小学校	1日	2人	

高梁市立落合小学校	1日	1人	
岡山かなりや学園	1日	1人	
高梁市	1日	2人	
岡山県立瀬戸南高等学校	15日	2人	
朝日医療大学校	26日	2人	
合計	391日	98人	

2. 機関紙一般購読事業（公2）

聴覚障害者の情報不足を補うために、聴覚障害者福祉に関わる情報を提供するとともに、社会に対して聴覚障害者についての理解と啓発を促すため、次の事業を実施した。

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けて機関紙一般購読事業を実施した。機関紙は岡山県内の聴覚障害者、賛助会員、手話サークル会員などの手話関係者、購読を希望する一般の方々及び関係機関・団体等へ月1回定期的に発行した。（発行部数539部・年間購読料2,000円）

なお、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の会員には無料配布した。機関紙では、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の活動報告だけでなく、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会や関係団体等の行事の案内や、災害情報や障害者に関する法律等の情報、全国の聴覚障害に関する様々な情報発信を行った。

事業実施のための財源 「社会福祉法人岡山県共同募金会」より受けている「共同募金配分金」と機関紙購読料を充当した。

3. 聴覚障害者のパソコン利用促進事業（公3）

聴覚障害者のパソコン利用に対するサポートや指導を行い、ITに関する知識を高め、社会への聴覚障害者参加の一層の促進を図るために、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」を受託し、「聴覚障害者のパソコン利用促進事業」を実施していたが、平成28年度から委託が終了したため、令和元年度は事業を休止した。

（1）パソコンボランティア養成・派遣事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコンボランティア養成・派遣事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、受託が得られなくなったため、事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、令和元年度は事業を休止した。

(2) パソコン利用促進事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会から「岡山県地域生活支援社会参加促進事業」に規定する「パソコン利用促進事業」を受託し、以下の事業を行っていたが、委託が終了したため、令和元年度は事業を休止した。

事業実施のための財源 公益財団法人岡山県身体障害者福祉連合会からの委託料を充当していたが、平成28年度より委託が終了したため、令和元年度は事業を休止した。

4. 福祉まつり事業（公4）

聴覚障害者、手話関係者、一般県民が交流を深め、聴覚障害者に対する正しい理解を広めること及び聴覚障害者の自立と社会参加の促進を図ることを目的として次の事業を実施した。

「県民ふれあい手話まつり」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、岡山県より「岡山県障害児（者）社会参加促進事業費補助金」の助成を受けて、浅口市で「県民ふれあい手話まつり」を開催した。

この事業は各支部（岡山支部・倉敷支部・玉野支部・東備支部・笠岡支部・浅口支部・井原支部・美作支部）が持ち回りで順番に実施しており、令和元年度は浅口支部が実施した。（主催は公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会）

手話まつりの対象者は聴覚障害者だけでなく、地域の人を含め誰でも参加することができることとし、入場料や参加費は無料で行った。

手話まつりは岡山県下の聴覚障害者、手話サークル会員等の関係者及び地域の一般の方々が一堂に会し、講演会等によって聴覚障害者に関わる諸問題について学び、お互いの交流を深め、広げていくことができた。開催場所は浅口市健康福祉センター（公共施設）を利用した。参加人数は200名であった。令和元年度に実施された「県民ふれあい手話まつり」は以下の通りである。

令和元年11月17日（日）、浅口市鴨方町において、「第35回県民ふれあい手話まつり」を開催した。午前10時から開会式典を行い、その後、手話歌、手話クイズ、DVD上映会や講演会が行われた。

協会の機関紙やホームページなどを通して広く一般に呼びかけ、聴覚障害者、手話サークル会員などの関係者のほか、浅口市内の地域の方々も来場され、地域交流にふさわしい場となり、地域の一般の方々に聴覚障害者についての理解を広める良い機会となった。

事業実施のための財源 岡山県障害児（者）社会参加促進事業費補助金の助成金等を充当した。

5. 研修会事業（公5）

聴覚障害者自身の社会参加のための啓発又、聴覚障害者の福利厚生の実現を図るために、研修会事業を実施した。

（1）ろう高齢者の集い事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」より共同募金配分金を受けてろう高齢者の集い事業を実施した。

岡山県内のろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心に情報交換や意見交換、生活防衛のための知識習得等を行い、孤独になりがちなろう高齢者に仲間と交流する場を提供することで、ろう高齢者が充実した生活を送れるよう支援した。対象者はろう高齢者（高齢聴覚障害者）を中心とした聴覚障害者やその家族、手話関係者等である。令和元年度に実施した「ろう高齢者の集い」事業の概要は次のとおりである。

令和元年10月27日（日）、第15回「岡山県ろう高齢者のつどい」をきらめきプラザ2階大会議室で開催した。午後1時30分から各支部の情報交換を行い、宮地勇氏を招いて「自分の死後、家族が困らないためには」をテーマに講演会を行った。各支部の情報交換では今後の活動の参考になり、有意義な研修会となった。参加は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外のろう高齢者（高齢聴覚障害者）にも呼びかけを行った。当日は、ろう高齢者を中心に、手話サークルの方々や家族の方など、25名が参加した。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）を充当した。

（2）聴覚障害者フォーラム事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、「社会福祉法人岡山県共同募金会」から共同募金配分金を受けて聴覚障害者の啓発を目的とした聴覚障害者フォーラム事業を実施した。

内容に応じて、「ろうあ運動フォーラム」「聴覚障害者労働問題フォーラム」「聴覚障害者フォーラム」として開催している。

一般財団法人全日本ろうあ連盟や公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会と同じく連盟に加盟している各都道府県団体で活動されている方による講演を行うとともに、公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の役員、会員の聴覚障害者や、手話通訳者、手話サークル会員などの関係者、その他テーマに興味を持つ方々による意見交換を行い、今後の活動方針を話した。

令和元年度に実施した「手話言語フォーラム」の概要は次のとおりである。

令和元年10月20日（日）、浅口市寄島町所在のふれあい交流館「サンパレア」で開催した。午後1時から一般財団法人全日本ろうあ連盟理事倉野直紀氏を招いて記念講

演や手話言語条例制定の取り組みにあたって各市町村長を招いてシンポジウムを行った。参加は協会の機関紙やホームページで一般社会に呼びかけ、当日は聴覚障害者、手話通訳者、手話サークルを始め、県内の行政職員、市議会議員ら約200名が参加。聴覚障害者の福祉向上に向けて討議し、意見発表、情報交換等を行った。

事業実施のための財源 共同募金配分金（社会福祉法人岡山県共同募金会）等を充当した。

（3）聴覚障害者地域支援センター「ともろう・はうす」事業

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、会員からの寄付金及び指定正味財産を充当し、聴覚障害者地域支援センター事業「ともろう・はうす」を運営し事業を実施した。

「ともろう・はうす」は、聴覚障害者の様々な相談に応じると共に、日常生活に必要な情報提供を行い、生活向上のための学習、調理実習、社会見学等交流の場を提供し、地域で豊かな暮らしと聴覚障害者の社会参加の促進に努めた。

平成28年7月3日に正式開所し、「ともろう・はうす」の運営を開始した。開所当初は、週1回（月曜日）、現在は週2回（月曜日、土曜日）に運営した。

利用者は、聴覚障害者568名、健聴者470名、合計1,038名となった。

倉敷市内の協会会員を中心に活動し、岡山県内の聴覚障害者、手話関係者などが集い、バーベキュー、クリスマス交流会等を実施し、交流を深めた。また、参加者が得意とする作品作りを行った。参加者は協会の機関紙やホームページで一般に呼びかけ、各支部を通して協会会員外の聴覚障害者にも呼びかけを行った。

事業実施のための財源 会員からの寄付金及び指定正味財産を充当した。

6. 映画上映事業（公6）

聴覚障害者についての理解や啓発と手話の普及を図るために事業を実施しているものの、令和元年度は上映を希望する団体がなかったため、実施していない。

7. 岡山県聴覚障害者センター管理運営事業（公7）

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会は、聴覚障害者の社会参加と自立促進のため、独自事業として手話通訳者の養成・派遣を中心に取り組んでおり、それをさらに拡充するために岡山県聴覚障害者センターの指定管理を受け、効率的に各事業を実施した。岡山県と公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会とは岡山県聴覚障害者センターの管理に関する包括協定書及び年度協定書を結び、以下の事業を行った。なお、管理運営にあたっては、岡山県聴覚障害者センター運営会議において聴覚障害者の視点を生かすことを努めた。

（1）手話通訳者養成事業

1. 目的

手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる者に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務、手話通訳に必要な語彙や手話通訳表現技術等の指導を行うことにより、手話通訳者を養成し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 対象

聴覚障害者等の福祉に理解と熱意を有し、手話で特定の聴覚障害者と日常会話が可能なる程度の者を対象に公募した。

3. 方法

厚生労働省通知の「手話奉仕員及び手話通訳者の養成カリキュラム」に則り、「基本課程」2講座（42時間）「応用課程」（42時間）「実践課程」（24時間）の3課程を設けた。身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務を理解させ、手話通訳に必要な手話語彙や手話通訳表現技術等の指導を行った。

4. 令和元年度実績

①手話通訳者養成講座の開催

講座	回数	修了者数	開催地
基本課程Ⅰ	21	10人	岡山市
基本課程Ⅱ	28	20人	倉敷市
応用課程Ⅰ	18	10人	岡山市
応用課程Ⅱ	28	9人	玉野市
実践課程	12	13人	岡山市

②全国統一試験（岡山県登録試験）の実施

- ・実施年月日 令和元年12月7日（土）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
受験者数 27名
合格者数 5名

岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県手話通訳問題研究会及び岡山県手話通訳士協会の協力を得て実施委員会を設置し実施した。合格者について本人の承諾を得て岡山県認定手話通訳者として5名登録した。

③手話講座指導者の養成のための講座への派遣

- ・手話通訳者養成担当講師連続講座 2名派遣

④県登録手話通訳者を対象として頸肩腕症候群健康診断を実施した。

- ・対象：岡山県登録手話通訳者
- ・医師：玉島協同病院 道端達也医師
- ・健診：一次健診 問診票による健診 101名受診

(2) 手話通訳士養成研修事業

1. 目的

裁判員制度の発足、政見放送への手話通訳導入の拡大などにより、手話通訳者により高い専門性を持った人材の確保が求められており、登録手話通訳者を対象とした研修を行い、手話通訳士を養成するとともに手話通訳士を対象とした現任研修を実施する。

2. 対象

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士
- ・指導者養成研修 講師予定者

3. 方法

- ・手話通訳士養成研修 登録手話通訳者が手話通訳士の資格取得に向けた知識・技能の習得を図るため研修を実施した。
- ・手話通訳士現任研修 手話通訳士の知識・技能の向上を図るため、現任研修を実施した。
- ・指導者養成研修 手話通訳士養成研修の講師を確保するため、全国手話研修センター（京都市）が実施する講師研修会へ講師予定者を派遣した。

4. 令和元年度実績

①【手話通訳士養成研修】

- ・実施年月日 令和元年6月9日～10月19日（10回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 3名

②【手話通訳士現任研修】

- ・実施年月日 令和元年6月9日～10月19日（6回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 0名

③【指導者養成研修】

- ・実施年月日 令和2年3月29日（1回）
- ・実施場所 岡山県聴覚障害者センター
修了者 0名

④【手話通訳士養成・現任研修派遣】

現任研修

- ・実施年月日 令和2年1月18日～1月19日（2日）
- ・実施場所 全国手話研修センター
修了者 1名

5. 第31回手話通訳技能認定試験（全国手話通訳士試験）

- ・実施年月日 令和元年10月5日～10月6日
- 受験者数 16名
- 合格者 2名

6. その他

実施方法については、岡山県聴覚障害者センター、岡山県聴覚障害者福祉協会及び岡山県手話通訳士協会が事業実施のための委員会を設立して決定した。

（3）要約筆記養成事業

1. 目的

聴覚障害者の福祉に理解と熱意を有する者に対して、手話取得の困難な中途失聴者、難聴者のコミュニケーションの手段としての要約筆記の指導を行うことにより、高い専門性をもった要約筆記者の養成を行う。

2. 要約筆記者養成講座

- ・実施年月日 令和元年6月2日～12月1日（18回）岡山市
- ・受講者数 24名
- ・修了者 17名（7名登録）

3. 全国統一要約筆記者認定試験（要約筆記者登録試験）

- ・実施年月日 令和2年2月16日（日）
- ・受験者数 26名
- ・合格者 7名

4. 要約筆記者指導者養成研修への派遣

（基礎研修コース）

令和元年7月5日～7月7日	2人	東京都
令和元年8月24日～8月26日	2人	東京都
令和2年1月11日～1月13日	2人	東京都

（4）手話通訳者設置事業

1. 目的

身体障害者の福祉に理解と熱意を有する手話通訳者を設置し、聴覚障害者及び音声又は言語機能障害者（以下「聴覚障害者等」という）の家庭生活及び社会生活におけるコミュニケーションの円滑化を推進し、聴覚障害者等の福祉の増進を図る。

2. 内容

センターに手話通訳者3名を配置

3 主な業務

- ① 病気や交通事故など緊急時の手話通訳業務
- ② きらめきプラザ内での手話通訳業務
- ③ ろう者団体の要請による手話通訳業務
- ④ 聴覚障害者の生活相談業務
- ⑤ 市町村手話通訳者派遣及び各種団体手話通訳者派遣のコーディネート業務
- ⑥ その他

(5) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（連絡調整）

1. 目的

意思疎通支援を行う者の派遣に係る市町村相互間の連絡調整等広域的な対応を行い、聴覚障害者の福祉増進を図る。

2. 対象 市町村

3. 令和元年度実績（年間派遣数）

手話通訳派遣について、市町村と委託契約を結び、広域派遣コーディネートを行った。

- ・広域派遣数 317件 336人
- ・同一市町村派遣 107件 122人

(6) 意思疎通支援者派遣連絡調整事業（派遣）

1. 目的

専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】

- ・手話通訳者派遣数 14件 38人
- ・要約筆記者派遣数 10件 43人

【岡山県難聴者協会】

- ・手話通訳者派遣数 1件 2人
- ・要約筆記者派遣数 17件 61人

【その他の団体】

- ・手話通訳者派遣数 4件 8人
- ・要約筆記者派遣数 1件 4人

3. 団体別派遣数

【岡山県聴覚障害者福祉協会】（手話通訳者） ※（ ）は要約筆記者で外数

	開催年月日	会議・催事名	派遣人数
1	4月1日	青鳥理容文化会 定期総会	1
2	4月21日	岡山県聴覚障害者福祉協会女性部 定期総会	1

3	4月21日	岡山県聴覚障害者福祉協会女性部 講演会	2
4	5月18日	中国地区ろうあ者大会 式典	7 (5)
5	5月18日	中国地区ろうあ者大会 記念講演	2 (5)
6	5月18日	中国・四国地区ろうあ者体育大会	2
7	6月16日	岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会 式典等	3 (4)
8	6月16日	岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会 記念講演	3 (4)
9	7月21日	岡山県手話通訳問題研究集会 開会式・記念講演	3 (5)
10	7月21日	岡山県手話通訳問題研究集会 全体会・閉会式	2 (5)
11	7月21日	岡山県手話通訳問題研究集会 分科会	(3)
12	9月16日	全国ろうあ理容連盟創立50周年記念大会 式典	4
13	9月16日	〃 講演①(トーク)、講演②	2
14	11月17日	県民ふれあい手話まつり 式典 県民ふれあい手話まつり 講演会	3 (4) 3 (4)

【岡山県難聴者協会】(要約筆記者)

事業運営会議・講演会などを開催し、要約筆記者17件61名(手話通訳者1件2名)派遣

【その他の団体】(手話通訳者・要約筆記者)

定期総会などを開催し、手話通訳者4件8名(要約筆記者1件4名)派遣

(7) 自立支援拠点活動支援事業

1. 目的

難聴者、ろうあ者等の聴覚障害者の福祉増進並びに自立支援を行う拠点として設置されている聴覚障害者センターが中心となって、各種講習会等の事業を行い、生活文化の向上、社会参加の促進を図る。

2. 対象 聴覚障害者(ろう者、中途失聴者、難聴者)

3. 方法 県内広範に会場を設け、講習会や講座を実施した。

4. 自立支援拠点活動支援のための講座

①一般講座 14回 参加者 280名

②難聴者のための手話教室 12回 参加者 162名

5. 自立支援拠点活動支援のための講座(内訳)

【ろうあ者対象の講演会等】

日時	講座等名称	開催場所	人数
4月1日	よくわかるニュース解説	岡山市	80
6月3日	運転免許特定任意講習会	岡山市	2
7月12日	「介護保険のしくみ」～介護サービスが使いたくなったら～	岡山市	29

10月28日	ひろげよう！つなげよう！たまの食育：わ：	玉野市	15
9月28日	わかりやすい年金制度について	岡山市	14
10月26日	失敗しない電子マネーの使い方	岡山市	15
11月25日	かるうま減塩ってなあに？	岡山市	19
12月1日	運転免許特定任意講習会	岡山市	3
12月2日	運転免許特定任意講習会	岡山市	3
11月24日	フレイルの予防	倉敷市	17
12月1日	ろう者と歩んだ25年 「手話が語る福祉」が教えてくれたこと	岡山市	27

【中途失聴者・難聴者対象の講習会等】

開催	内容	人数	会場
(月1回)	難聴者のための手話教室	162	岡山市

(8) 手話入り映像ライブラリー等貸出事業

1. 目的

映像等に手話、字幕を挿入したビデオ（DVD）の貸出を行うことにより、聴覚障害者に対する情報提供に資する。

2. 映像ライブラリー（手話、字幕付き）の貸出

・利用者数 86人 228本

3. 手話学習ビデオ・書籍の貸出

・利用者数 123人 262本

4. ビデオ等保有状況

・VHS 3, 731本（令和元年受け入れ状況・・・0本）

・DVD 740本（令和元年受け入れ状況・・・45本）

(9) 聴覚障害者コミュニケーション機器貸出事業

1. 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助努力を助長するため、地域における各種大会行事等に聴覚障害者コミュニケーション機器を貸し出すことにより、聴覚障害者に対する理解と地域ボランティアの拡充を図り、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 年間の利用状況

・利用者件数 549件 141人

（プロジェクター・パソコン・テレビセット・映像ケーブル等）

(10) 聴覚障害者関係地域ボランティア研修事業

1. 目的

手話・要約筆記に係る地域ボランティアの養成及び活動の活性化を進めるために、手話通訳者及び要約筆記者に対し研修を行い、聴覚障害者の福祉の増進を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容	対 象
①	令和元年 6月23日(日)	◇事例検討 ・読み取り 聞き取り通訳 ・通訳現場で迷うこと 講師 庄田 正子氏	手話通訳者 ※参加者 76名
②	令和2年 2月22日(土)	◇講演「聞こえない人に寄り添う手話通訳者像」 講師 公益社団法人 鳥取聴覚障害者協会 事務局次長 戸羽 伸一氏 ◇実技演習	手話通訳者 ※参加者 80名
③	令和元年 5月26日(日)	◇講演「対人援助について」 講師 川崎医療福祉大学医療福祉学部臨床心理学科 今里 有紀子氏	要約筆記者 ※参加者 55名
④	令和2年 2月2日(日)	◇講演「伝えるということ」 講師 山陽新聞社 記者 平田 圭三氏 ◇実技演習	要約筆記者 ※参加者 53名

(11) 災害救援専門ボランティア研修事業

1. 目的

県が登録している災害救援専門ボランティア（手話通訳及び要約筆記者等の分野）に係る専門的な技術のレベルアップやボランティア意識の向上を図る。

2. 研修会

	年 月 日	内 容
①	令和元年 9月8日(日)	◇講演「災害ボランティアセンターへの取組について」 -多発する災害への備えと多様なボランティア活動- 講師 岡山県社会福祉協議会地域福祉部 副部長 木村 真悟氏 ◇体験発表 梅岡光恵氏、谷口進氏、田島陽一郎氏 ○参加者 84名
②	令和2年 1月12日(日)	=避難所での通訳のあり方を考える= ◇講演

		講師 NPO復興支援チームフレンドシップ 山中 弓子氏 ◇グループワーク ○参加者 67名
--	--	---

(12) 聴覚障害者の相談業務

1. 目的

聴覚障害者及びその家族等の相談に応じ、必要な助言・情報提供・適切な専門機関への紹介等を行う。

2. 年間相談件数（ろう者・難聴者・親族・健聴者等）

・相談件数 260件 相談者数 272人

(13) 聴覚障害者用の自主制作映画等の制作

1. 目的

聴覚障害者に対する情報提供に資するため、自主制作映画等を作成し、福祉の増進を図る。

2. 自主ビデオの作成

◇制作ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	岡山県消防防災航空センター	完成
②	色とりどりの花木が並ぶ西川・枝川緑道公園をあるく	完成
③	ヒロヒゲの手話語りDVD（27巻～29巻）	完成
④	備前焼の狛犬を巡る（仮）	制作中
⑤	ハマちゃん手話	4話収録

◇字幕挿入ビデオ

	制作ビデオのタイトル	経過
①	閑谷学校と論語（文化講演会）	完成
②	宇喜多堤と児島湾干拓～往来浪漫はやしま物語～	完成
③	岡山県人物シリーズ③内田百聞	完成

(3) ビデオ等の保有状況

	H30末 保有数	H31受け入れ状況							小計	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月			
DVD	695	0	0	0	0	0	6	6		
VHS	4,153	0	0	0	0	0	0	0		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	累計	
DVD		0	0	0	0	12	27	45	740	

VHS		0	0	0	0	0	▲422	▲422	3,731
-----	--	---	---	---	---	---	------	------	-------

(14) その他の事業

聴覚障害者センターの管理に関する年度協定に規定する「その他聴覚障害者の福祉の向上のための事業」であり、センター独自に企画した事業。

1. 広報活動の充実

(1) 目的

広報誌「センターだより」の発行と公式サイト（ホームページ）の公開により、聴覚障害者に様々な情報を提供するとともに、好機に広報媒体に情報発信し、センターの周知と利用促進を図る。

(2) 広報誌「センターだより」の発行

- ① 第56号発行・郵送配布・・・7月
- ② 第57号発行・郵送配布・・・9月
- ③ 第58号発行・郵送配布・・・12月
- ④ 第59号発行・郵送配布・・・3月

(3) ホームページの公開

項目	内容	
最終更新日	令和2年4月1日（通常週2回更新）	
アクセス数 （平成31年3月）	TOPページ	1,279（累計27,890）（平成29年4月1日～集計）
	Youtube	8,319（累計257,043）（平成29年4月1日～集計）
ホームページ掲載内容	<p>[MENU] TOP、ご案内（概要・沿革、施設・交通案内、各部屋紹介、センター運営、センター事業、センターだより）、映画・動画（字幕付き映画、手話語り、デジタル岡山大百科）、貸出・予約（利用登録について、ビデオ、DVD、コミュニケーション機器、生活応援グッズ、研修室・会議室）、通訳派遣、各種講座（聴覚障害者のための講座、難聴者のための手話教室、手話通訳・要約筆記講座）、その他（更新情報、FAQ・よくある質問、お問合せ、リンク、サイトマップ）</p>	

2. 手話通訳者派遣のコーディネート

(1) 目的

聴覚障害者に対する情報保障を推進するため、各種団体の要請を受け、県下全域にわたって手話通訳者派遣のコーディネートを行う。

(2) 年間派遣件数

団体派遣数 222件 405人

3. お昼休みのミニ手話教室

(1) 目的

きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員を対象に、簡単な手話の講習を継続的に
行い、館内のコミュニケーション・バリアフリー化を進め、聴覚障害者の福祉増進を
図る。

(2) 内容

- ① 対象：きらめきプラザ内に勤務する各種団体職員
- ② 回数：月2回（第1，第3木曜日）
- ③ 場所：きらめきプラザ

4. みんながきらめく手話の会

(1) 目的

手話の講座を修了した人を対象に、手話を介して交流や学習をすることにより、手
話によるコミュニケーション能力を高めるとともに、高いレベルの手話を学びたいと
いう意欲を育てる。

(2) 内容

- ①対象：手話に興味がある人
 - ②回数：毎週木曜日
 - ③内容：手話を介した交流・学習会
- ※開催実施 45回 480人

5. 「しゅわ」の集い

(1) 目的

登録手話奉仕員を対象に研修を行い、奉仕員としてより手話に親しむとともに、ボ
ランティアとして活動する意欲を高める。

(2) 実施状況

※開催実施 5回 25人

6. 手話通訳者の集い

(1) 目的

登録手話通訳者（登録後6年以内）を対象に研修を行い、通訳者としてより一層の
手話技術の向上と通訳者として活動する意欲を高める。

(2) 実施状況

※開催実施 4回 49人

7. のびのび子どもひろば

(1) 目的

聴覚障害児と聞こえる子どもたちが一緒に活動する中で、聴覚障害について理解を深めるとともに楽しむことのできる場を設ける。

- ① 開催日：令和元年8月5日（月）
- ② 参加者：50人
- ③ 内 容：絵本よみきかせ、映像クイズ、工作（カニのメモスタンド）
さかな釣り、コリントゲーム、つみき

8. 災害対策本部

(1) 目的

- ① 災害発生時に災害に関する情報収集を行う。
- ② 災害発生時に聴覚障害者への救援支援活動等対応策を検討する。
- ③ 災害に備え、聴覚障害者の防災意識や災害対応能力の向上を図る。

(2) 災害対策本部の活動内容

項 目	内 容
(1) 構 成	1 設 立 平成20年4月「岡山県聴覚障害者災害対策本部」を設立 2 構成団体 ①岡山県聴覚障害者福祉協会 ②岡山県難聴者協会 ③ 岡山県手話通訳問題研究会 ④ 岡山県要約筆記団体連絡会 ⑤ 岡山県聴覚障害者センター
(2) 目 的	1 県内で緊急災害が発生した際、情報収集、支援活動の検討を行う。 2 緊急災害の発生に備え、聴覚障害者の防災意識と災害対応能力の向上を図る。
(3) 活 動	◇第1回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催 ◇第2回会議（研修会）・・・災害救援専門ボランティア研修会と共催 ◇第3回会議 令和2年3月22日（日）13：30～

9. ろう高齢者交流会

(1) 目的

日ごろ、人との交流が少ない高齢聴覚障害者が同じ障害の友人や青年、女性と楽しい一時を持つ機会を提供する。

(2) 活動の概要

- ① 開催日時：令和元年12月15日（日）
- ② 開催場所：きらめきプラザ 401会議室
- ③ 内 容：講演「認知症に対する知識を高めよう」
交流 レクリエーション
- ④ 助 成：梶谷福祉基金
- ⑤ 参加者：63名

10. 中期目標の評価と見直し

(1) 目的

センターの各種事業の成果については、平成28年度に策定した第2期中期計画において設定した新たな評価指標に基づく事業評価を実施する。評価結果については、センター運営委員会、運営会議に報告し、外部評価も併せて行う。

なお、本計画は平成29年度から5ヵ年間の行動計画であるが、国の制度改正に伴い事業内容や財源に変更が生じた場合は、随時、見直しを行う。

(2) 平成30年度事業評価

(ア) 総合評価・・・・・・・・2.7

(イ) 公表方法

- ◇第1回センター指定管理者運営委員会（R元年5月25日（土）開催）
- ◇センター運営会議（R2年3月開催予定）・・・中止
- ◇センターホームページ

(3) 中期目標の見直し

中期目標に基づき事業評価を行い、実績を検証し、次期中期目標の策定に生かす。

11. 学校教育との連携

(1) 目的

県内の小中学生等を対象に、総合的な学習の時間等を活用して、聴覚障害者センターで聴覚障害者に対する理解を深めるため、体験学習を行う。

(2) 実施回数

回数	年月日	学校名	参加者数	備考
第1回	H31.4.24	中国短期大学	7	出前講座
第2回	R元.5.30	岡山市立伊島小学校	85	
第3回	R元.5.31	岡山市立伊島小学校	88	
第4回	R元.6.6	岡山県立水島工業高等学校	90	出前講座
第5回	R元.7.19	岡山市立岡山後楽館高等学校	20	

第6回	R元.10.28	岡山市立城東台小学校	41	出前講座
第7回	R元.12.6	岡山県立岡山聾学校	8	
小計			339	

12. 関係機関や地域社会との連携

(1) 目的

聴覚センター単独での事業運営には限界があるため、地域社会や他の公共施設、団体との相互連携活動を推進し、事業内容の充実と多様化を図る。また、文化講演会などの開催を検討する。

(2) 関係機関や地域社会との連携

年 月 日	連携団体名	連携事業内容	備考
R元.5.24	中国四国農政局岡山拠点	職場内研修会	出前講座(25名)
R元.8.24	岡山県理学療法士会	講習会講師	講習会(33名)

(3) 文化講演会の実施

- ① 開催日時：令和元年8月18日(日)
- ② 開催場所：きらめきプラザ 401会議室
- ③ 内 容：日本が誇る刀剣の里-名刀「山鳥毛」を生んだ備前-
講師 長船刀剣博物館 学芸員 杉原 賢治氏
- ④ 参加者：33名

13. 聴覚障害者生活支援グッズの貸出

(1) 目的

コミュニケーションの困難な聴覚障害者の自立自助を助長するため、生活応援グッズを貸し出すことにより、聴覚障害者の日常生活の円滑化を図り、聴覚障害者の福祉増進を図る。

(2) 年間の利用状況

利用件数 31件 18人

14. 岡山県青少年総合相談センター事例研修会

(1) 目的

きらめきプラザ内の各相談機関の連携並びに相談員の資質向上を図る。

(2) 実施回数 10回(12回中2回中止) 9人

15. 全国聴覚障害者情報提供施設協議会関係事業への協力

(1) 目的

全国聴覚障害者情報提供施設協議会への協力の一環として、職員の専門委員会への就任、全国レベルの研修会の開催など、事業の円滑な推進に貢献する。

(2) 手話通訳事業に関する専門委員会への出席

① 第1回

- ・開催日：平成31年4月5日（金）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

② 第2回

- ・開催日：令和元年10月25日（金）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

③ 第3回

- ・開催日：令和2年1月22日（水）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

(3) 情報メディアに関する専門委員会への出席

① 第1回

- ・開催日：令和元年5月28日（火）・29日（水）
- ・場 所：京都市聴覚言語障害センター

(4) 意思疎通支援事業担当者研修会の運営参加

- ・開催日：令和元年7月24日（水）～26日（金）
- ・場 所：京都市（全国手話研修センター、京都市聴覚言語障害センター）
- ・内 容：講義
 - ① 電話リレーサービスについて—民間企業と情報提供施設の現状を知る—
 - ② 情報提供施設のあるべき姿とは
 - ③ 個別支援 現状とこれから必要とされる支援
- ・参加者：47名

(5) ブロック施設長会議

- ・開催日：令和元年11月20日（水）
- ・場 所：岡山県聴覚障害者センター
- ・内 容：① 電話リレーサービスについて
 - ② 災害時の支援対策について
 - ③ その他
- ・参加者：14名

(6) ブロック意思疎通支援担当者会議

- ・開催日：令和元年12月11日（水）

- ・場 所：岡山県聴覚障害者センター
- ・内 容：聴覚障害者情報提供施設における意思疎通支援事業の現状と課題
- ・参加者：13名

16. 研修会への参加

(1) 目 的

センター事業の円滑な実施のため、職員の資質の向上を目指す。

(2) 平成31年度聴覚障害者向けソフト制作担当者職員研修会

- ・開催日：令和元年11月13日(木)～15日(土)
- ・場 所：岩手県立視聴覚障がい者情報センター
- ・内 容：① 講演「聴覚障害者に対する事業の取組から」
② 講演「動画の制作と活用」
③ ワークショップ基礎

(3) 第25回全国中途失聴・難聴者福祉大会 in 滋賀

- ・開催日：令和元年11月23日(土)～24日(日)
- ・場 所：滋賀県立県民交流センター
- ・内 容：① 分科会「キャリアアップ～聴覚障がい者が企業で生き抜く力～」
・講演・ワールドカフェ
② 講演「日身連の活動と全難聴に期待すること」
③ 講演「発達障害とコミュニケーション」
④ 講演・対談

(4) 手話通訳者現任研修

- ・開催日：令和元年12月21日(土)～22日(日)
- ・場 所：群馬県社会福祉総合センター
- ・内 容：実技演習
講義（手話通訳の職務、コミュニケーション論と要約の基礎）

(5) 防災気象講演会

- ・開催日：令和2年2月1日(土)
- ・場 所：ピュアリティまきび
- ・内 容：講演「西日本豪雨被災地、倉敷市真備地区を取材して」
講演「豪雨災害を受けた『自治体の取組み』」
講演「地域でつくる『防災スイッチ』」

(6) 全国ろうあ者相談員研修会

- ・開催日：令和2年1月24日（金）～25日（土）
- ・場 所：浪速区民センター
- ・内 容：① 講義「労働・相談チーム支援について」
 - ② グループ討議
 - ③ レポート報告・討議
 - ・ろうあ者相談員関係
 - ・ろうあ者相談員としての悩み・ネットワーク・国への要望
 - ・手話協力員としての悩み・国への要望
 - ・求職・職場定着

(7) 電話リレーサービスオペレーター担当者研修会

- ・開催日：令和2年1月25日（土）～26日（日）
- ・場 所：長野県聴覚障害者情報センター
- ・内 容：① 講義
 - 「ITCにおける通訳とは(その可能性と限界)/米国のRS事業者の様子」
 - ② 演習「リレー（手話）の実際」
 - ③ 演習「リレー（文字）の実際」

17. 指定管理者運営委員会の開催

平成17年のセンター設置以来、センターの適正な運営を図るため、岡山県聴覚障害者福祉協会と岡山県難聴者協会からそれぞれ選出された7名の委員で岡山県聴覚障害者センター指定管理運営委員会を構成し、センターの運営について協議する。

指定管理者運営委員会の開催実施 6回

事業実施のための財源 上記の1から17までの事業は岡山県聴覚障害者センターの運営に係る岡山県からの指定管理料、受講料等を充当した。

18. 電話リレーサービス提供事業

厚生労働省の高度情報通信等福祉事業の電話リレーサービス提供事業を受け、全国の聴覚障害者情報提供施設のうち、7施設で拠点的に実施し、聴覚障害者の福祉の向上に努める。

(1) 目的

聴覚障害者が必要に応じて健聴者と電話できるように、通訳者が間に入って通訳するサービスの提供体制を作ること、聴覚障害者の福祉の促進及び地域生活における自立が高まることを目的とする。

事業実施のための財源は、厚労省の「高度情報通信等福祉事業」の国庫補助金を充当

した。

II 収益事業

(1) 出版物販売 (収1)

一般財団法人全日本ろうあ連盟から販売されている書籍等及び公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会が独自作成した書籍等を事務所で常時販売し、公益社団法人岡山県聴覚障害者主催の社員総会やふれあい手話まつり及び岡山県手話通訳問題研究集会や耳の日の集いの共催事業時に販売を行った。

(2) その他の収益事業

① コピー機器の使用料

各種イベントで使われる拡大コピー機の印刷の使用料の徴収を行った。

② 事務手数料の徴収

公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会の支部行事や会員がスポーツ大会に参加する際の事務手続きのための手数料を徴収した。

その他

(1) 保健体育に関する事業 (収2)

聴覚障害者の心身の健康とスポーツ活動の推進を図るため、体育部の中に各種運動部を設け、全国・中国地区・岡山県等のスポーツ大会に選手派遣するとともに、各種委員会に出席した。

日 程	内 容	会 場
4月27日・5月12日・ 5月25日	第19回岡山県障害者スポーツ大会	岡山市
5月17日～5月19日	第65回中国地区ろうあ者大会 第11回中国・四国地区ろうあ者体育大会 第19回全国障害者スポーツ大会聴覚障害者バレーボール競技中国・四国地区予選会	岡山県
9月19日～9月22日	第53回全国ろうあ者体育大会	島根県 鳥取県
10月12日～10月14日	第19回全国障害者スポーツ大会	茨城県

(2) 全国手話検定試験実施

10月12日～13日 第14回全国手話検定試験 岡山市
試験 5級・4級・3級・2級

(3) 聴覚障害者の福利厚生に関する事業

日 程	内 容	会場
-----	-----	----

6月16日	第8回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会社員総会及び第8回公益社団法人岡山県聴覚障害者福祉協会福祉大会	岡山市
10月20日	手話言語フォーラム in 岡山	浅口市
10月27日	第15回岡山県高齢者のつどい	岡山市
11月17日	第35回県民ふれあい手話まつり	浅口市
2020年3月8日	耳の日の集い※コロナウイルス感染拡大防止のため中止	岡山市

(4) 関係官庁及び関係団体との連絡と協力に関する事業

ア. 岡山県・岡山県身体障害者福祉連合会等の会議への出席

イ. 全日本ろうあ連盟関係その他の各種行事、研修会等への派遣実施

日 程	内 容	会 場
6月13日～6月16日	第67回全国ろうあ者大会	宮城県
10月4日～10月5日	第30回全国専従職員研修会 出版物対策研究会議	福島県
9月27日～9月29日	第31回全国ろうあ高齢者大会 第33回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会 第10回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会	和歌山県 和歌山県
10月25日～10月27日	第49回全国ろうあ女性集会	沖縄県
11月2日～11月4日	第53回全国ろうあ青年研究討論会	長野県
2019年1月24日～ 1月25日	第33回全国ろうあ者相談研修会・ 第24回全国職業安定所手話協力員等研修会兼 ろうあ者労働問題フォーラム	大阪府

(5) 中国地区ろうあ連盟関係の各種行事や研修会への派遣

日 程	内 容	会 場
9月28日～9月29日	第27回中国地区合同手話研修会	広島県
7月27日～7月28日	第42回中国地区ろうあ女性集会	広島県
11月10日	第25回中国地区ろう文化学習会	山口県
11月23日～11月24日	中国地区ろうあ連盟秋の集い	島根県

(6) 手話関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳問題研究会と岡山県手話通訳士協会との連携を深めるため、連絡・会議・研修会を開催した。

ア. 三団体代表者会議 月1回開催

イ. 聴覚障害者の参政権をすすめる会

ウ. 手話放送委員会

エ. 手話言語法対策推進委員会

オ. 各種行事の連絡会議、研修会

県内の手話サークル会員・手話通訳者・聴覚障害者が一堂に集まり、手話・聴覚障害者問題について研究・意見交換を行い、お互いの資質向上を図った。

開催実施

日 程	内 容	会 場
7月21日	第34回岡山県手話通訳問題研究集会	岡山市
8月16日～8月18日	第52回全国手話通訳問題研究集会	奈良県

(7) 聴覚障害者関係団体との連携・協力

岡山県手話通訳士協会、岡山県手話通訳問題研究会、公益社団法人岡山県難聴者協会、岡山県要約筆記団体連絡会、岡山県聴覚障害者親の会、岡山県立岡山聾学校同窓会、岡山県立岡山聾学校PTA等との連携を深めるため、会議を開催した。

- ア. 聴覚障害者の参政権をすすめる会
- イ. 手話言語法対策推進委員会
- ウ. 岡山県聴覚障害者福祉協会災害対策本部
- エ. 岡山県聴覚障害者相談員連絡協議会

(8) その他、目的達成に必要と認める事業

① 岡山県保健福祉部障害福祉課と随時意見交換を行い、お互いの意志疎通を図ると共に、福祉制度の充実を目指した。

② 各専門部と各支部の自主的な活動及び運営への援助を行った。

ア. 各専門部の自主的な活動及び運営への援助

本協会組織の中に、組織部・手話対策部・福祉対策部・文化部・機関紙部があり、それぞれの事業を援助。

イ. 各支部の自主的な活動及び運営への援助

7支部（岡山・倉敷・玉野・井原・浅口・東備・美作）があり、必要に応じて各支部の事業を援助した。

③ 理事業

総会・三団体会議・理事会・各専門委員会等を開催し、本協会の運営と事業の推進を図った。

ア. 総会

イ. 三役会議

ウ. 理事会

エ. 各種専門委員会